	,
事案名	第2海軍航空廠(厚木)の事案 (神奈川県14 4)
分類	生産・保有
	廃棄・遺棄
SZE ALA	その他
資料	・「化学戦資材ノ件回答」昭和21年3月9日〔1〕
	・「各航空廠引渡目録」2/2〔2〕
	• Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare Volume
	[3]
	・『日本海軍史』第11巻〔4〕
	・「終戦時に於ける横須賀鎮守府関係参考資料」昭和22年〔5〕
資料内容概要	終戦時に、第2海軍航空廠(厚木)では毒ガス爆弾が保有され
	ており、米軍が進駐する前に廃棄済みであったとの情報がある。
	厚木補給工場は、神奈川県高座郡、神奈川県厚木にあったという
	記載がある。 
	生産・保有情報
	・昭和20年9月2日現在、第2海軍航空廠(厚木)には、6
	0 k g ガス爆弾が 8 , 8 5 2 発存在していた〔1〕。
	・終戦時の第2海軍航空廠の爆弾保有数は、厚木には各種60
	k g爆弾 (通常・陸用・1号・2号・3号・21号)・70
	k g 爆弾 ( 6 号 )・3 0 k g 2 7 号爆弾が合計 2 0 5 発存在
	ていた (2)。
	廃棄・遺棄情報
	・米軍は第2海軍航空廠(2nd Naval Aeronautical Arsenal)
	が保有していた毒ガス弾について、厚木には60kgイペ
	リット爆弾8,850発存在していたとし、米軍進駐前に
	廃棄済みであったと報告している〔3〕。
	その他情報
	場所については下記情報がある。
	・第2海軍航空廠厚木補給工場は、「神奈川県高座郡」に存在
	していたとの記載がある〔4〕。
	・第2海軍航空廠厚木補給工場は、「神奈川県厚木」に存在し
	ていたとの記載がある〔5〕。